

コンツェルン都市ニュルンベルクと 観光インフラストラクチャー

Konzern Stadt Nürnberg und ihr Tourismus

山 田 徹 雄
Tetsuo YAMADA

要 旨

観光インフラストラクチャーである交通、イベント会場に関して、都市が資本参加し、監査役を派遣していることは、ミュンヘン市に関して明らかとなっている。ミュンヘン市同様にバイエルン州の都市であるニュルンベルク市においても、私法形態の企業を通じて、観光インフラストラクチャーに都市が関与している。本稿では、ニュルンベルク交通株式会社、ニュルンベルク・メッセ有限会社、ニュルンベルク空港有限会社と都市の関係を解明し、観光が都市コンツェルンと密接な関係を有することを論証した。

はじめに

ニュルンベルク市は、2008年において私法形態の7子会社に過半数の持分を所有し、それ以外に11社に直接持分参加をしている。このような市の子会社を通じて、ニュルンベルク市は、間接的におよそ80社に関与する。これと並んで、6つの独立行政法人(Eigenbetrieb)、1つの直営行政事業(Regiebetrieb)、またシュパールカッセ(Zweckverband Sparkasse)をはじめとする目的連合(Zweckverbände)に資本参加し、まさに「コンツェルン都市ニュルンベルク」(Konzern Stadt Nürnberg)の名にふさわしい⁽¹⁾。

ニュルンベルク市が関与する企業に対する市当局の姿勢は、次の指摘に集約される。「株式会社、有限会社、自治体企業といった私法形態による企業設立の前提は、常に自治体の経済活動の公的目的である。」⁽²⁾

本稿においては、ニュルンベルク市が関与する私法形態の子会社のうち、観光に関わるものに

ついて、資本関係および監査役会の人的関係を中心に分析をすすめる。

なお、同市の独立行政法人において、広範な集客対象となるのは、フランケンシュタディオン (Frankenstadion Nürnberg) であり、市営サッカー場 (das städtische Stadion) をニュルンベルク・シュタディオン経営有限会社 (Stadion Nürnberg Betriebs-GmbH) に賃貸している⁽³⁾。

1. 「ニュルンベルク・モデル」の形成過程

観光インフラとニュルンベルク市の関係を解明するに先立ち、『ニュルンベルク市自治体企業 50 年史』(Städtische Werke Nürnberg GmbH, *50 Jahre Städtische Werke Nürnberg*, 2009、以下 StWN, 2009 と略記) に依拠して、同市による生活基盤供給事業と交通事業 (Versorgungs- und Verkehrsbetriebe) の関わりに触れる⁽⁴⁾。

19 世紀に民間企業として成立したこれらの事業のうちで大規模な事業所は、市当局による「専門家の指導のもとに」(unter fachmännischer Leitung) 置かれることとなった。1920 年、ガス事業支配人ルドルフ・テルヘルスト (Rudolf Terhaerst) は「技術専門市会議員」(technischer Stadtrat) に選出され、新たに設置された「技術調査局」(Technisches Referat) のトップに就いた。1921 年 1 月の「営業条例」(Geschäftsordnung) は、当該事業に「最大限の自立性と活動の自由」(möglichst große Selbständigkeit und Bewegungsfreiheit) を与え、「高度な経済効率」(wirtschaftliche Höchstleistungen) を求めた⁽⁵⁾。

1933 年、国家社会主義者による最初の施策が実施され、ガス供給事業、電力事業、水道事業が「技術経営局」(Technisches Betriebsamt) から分離され、交通事業とともに「ニュルンベルク自治体企業」(Städtische Werke Nürnberg) の名称のもとに統合された。民主的市行政において求められていた「自立性と活動の自由」は、「一人の技術訓練を受けた総裁による統一的閉鎖的指導に統括された」(in der einheitliche geschlossene Leitung eines technisch vorgebildeten Generaldirektors zusammengefasst) のである。1945 年まで総裁を務めたパウル・バイヤー (Paul Bayer) は、ヴェルツブルク電気事業支配人であると同時にナチス党員でもあった⁽⁶⁾。

ニュルンベルク自治体企業は 1937 年に、独立行政法人の法的形態が与えられ、翌年からは「党大会都市の事業と鉄道」(Werke und Bahnen der Stadt der Reichsparteitage) の名称が与えられ、市の一般会計から独立した存在となった⁽⁷⁾。

第 2 次大戦後、再び「ニュルンベルク市自治体企業」の名称が復活した。1958 年の市議会決議によって、当時 5,000 名の従業員を抱えていた同社は独立行政会社 (Eigengesellschaften) となった⁽⁸⁾。

これを主導したのは、SPD 所属市会議員、ヴィリー・プレルス (Willy Pröls)、フランケン発

電所代表取締役ヨゼフ・イペフェルコファー（Josef Ipfelkofer）、自治体企業執行役員フリッツ・フォークル（Fritz Vogel）であった。翌 1959 年には、ニュルンベルク市の自治体企業は、親会社である「自治体企業有限会社」（Städtische Werkr Nürnberg GmbH）（略称 StWN）、子会社であるエネルギー・水道供給株式会社（Energie- und Wasserversorgungs-Aktiengesellschaft）（略称 EWAG）およびニュルンベルク交通株式会社（Verkehrs-Aktiengesellschaft Nürnberg）（略称 VAG）が商業登記された。この 3 社は、すべて市の所有化にあり、労働者代表が参加するまでは、監査役のポストはすべて市会議員によって占められていた⁽⁹⁾。

重要な点は 2 つの子会社は独立した年次決算をおこなうが、利益のみならず損失も決算後、親会社に移されるということである。EWAG が計上する利益は課税されることなく、VAG の損失を事実上補てんする構造をもっていた。これは「ニュルンベルク・モデル」（Nürnberger Modell）と呼ばれ、他の都市における自治体企業の模範となったのである⁽¹⁰⁾。

この 3 社の空間的営業範囲は当初から市の境界を超えていた。水道供給はエアランゲンやその他の近隣ゲマインデに及び、ガス供給はミッテルフランケンの大部分とノイマルクト（Neumarkt in der Oberpfalz）をカバーし、また路面電車はフルト、バス事業はシュヴァーバッハ、エアランゲン、ツィルンドルフにも達していた⁽¹¹⁾。

こういった事情は、後述する VAG の資本関係、ニュルンベルク広域交通同盟有限会社の持分所有に反映されることとなる。

電力事業における規制緩和を受けて、1999 年にはニュルンベルク、フルト、エアランゲン、シュヴァーバッハの自治体企業が共同でエネルギー部門を統括する持株会社を作り、2000 年には EWAG は N・エネルギー株式会社（N-ERGIE Aktiengesellschaft）に再編された⁽¹²⁾。

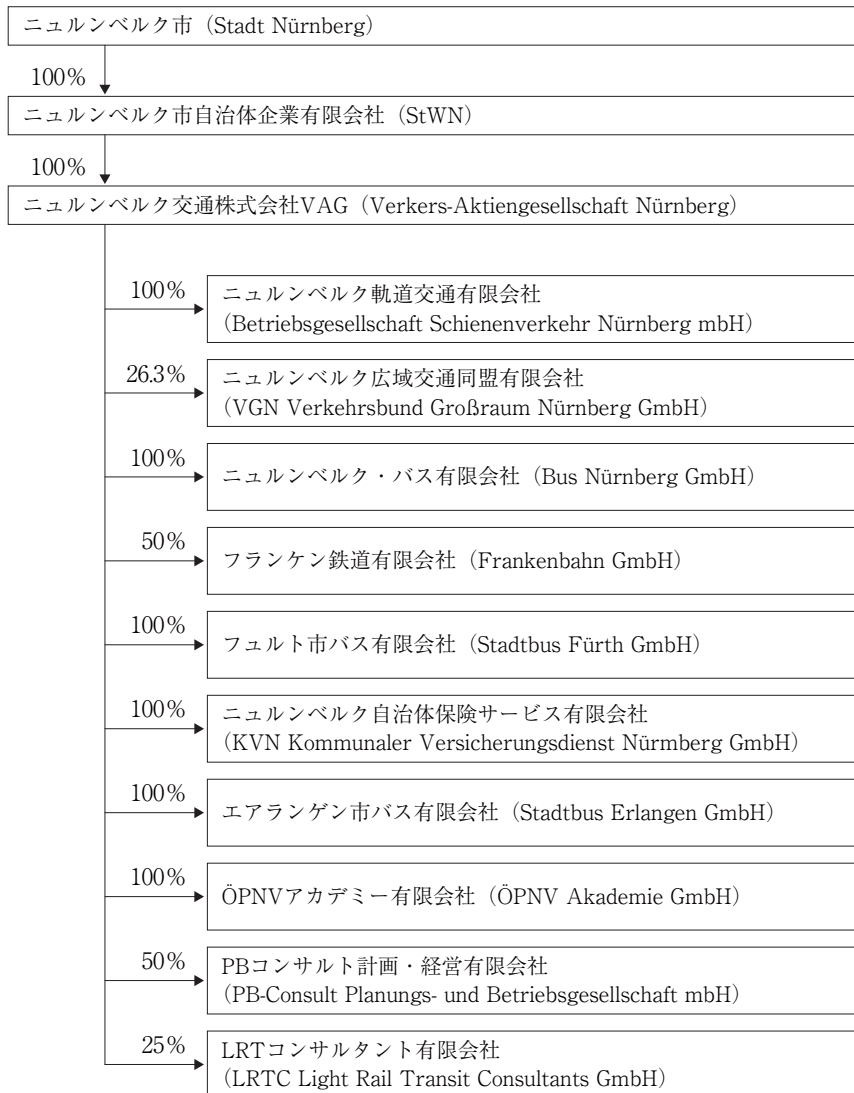
2009 年現在、ニュルンベルク市自治体企業は、4,500 件の雇用を提供し、ミッテルフランケンにおける最大の事業者である⁽¹³⁾。

2. ニュルンベルク近距離交通

StWN（Städtische Werke Nürnberg GmbH）は、エネルギー部門、住宅部門、交通部門の親会社を形成している。ここでは、観光と関わりの深い交通部門に限定して議論を進める。

ニュルンベルク市が 100% の持分を所有するニュルンベルク市自治体企業有限会社 StWN は、ニュルンベルク交通株式会社 VAG の資本金に 100% 参加している。[図 1] が示すように、VAG はニュルンベルク市を中心とする地域交通に関わる子会社を傘下に治めている。

図1 StWN および VAG の資本関係



(典拠) Stadt Nürnberg Finanzreferat, *Beteiligungsbericht Jahresabschluss 2007*, p.14

ここではまず、親会社である StWN の役員構成を見る。ニュルンベルク市が 100% 出資する親会社、StWN (Städtische Werke Nürnberg GmbH) の監査役会構成は [表 1] のようになっている。議長には上級市長ウルリヒ・マリ博士が就任し、議長、副議長を除く監査役 18 名中、8 名は市議員がこれにあたる。

表 1 StWN の監査役構成

議長 (Vorsitzender)	ウルリヒ・マリ博士 (Dr. Ulrich Maly)	ニュルンベルク市上級市長 (Oberbürgermeister der Stadt Nürnberg)
副議長 (Stv. Vorsitzender)	イゾルデ・エントライン (Isolde Endlein)	
監査役 (Aufsichtsrat)	テオドロス・アガタグリディス (Theodoros Agathagelidis)	市会議員 (Stadtrat)
監査役 (Aufsichtsrat)	ブリッタ・ブンガルツ (Britta Bungartz)	市会議員 (Stadrätin)
監査役 (Aufsichtsrat)	ヘルベルト・デチェル (Herbert Dötschel)	市会議員 (Stadtrat)
監査役 (Aufsichtsrat)	ミヒャエル・フリーザー (Michael Frieser)	市会議員 (Stadtrat)
監査役 (Aufsichtsrat)	フランツ・ゲプハルト (Franz Gebhardt)	市会議員 (Stadtrat)
監査役 (Aufsichtsrat)	アルノ・ハンブルガー (Arno Hamburger)	市会議員 (Stadtrat)
監査役 (Aufsichtsrat)	ヘラルド・クリス・フォン・ジーク モグロツキ (Harald Kris von Siegmogrodzki)	
監査役 (Aufsichtsrat)	カールハインツ・クラツアー (Karlheinz Kratzer)	
監査役 (Aufsichtsrat)	ウルズラ・リシュケ (Ursula Lischke)	
監査役 (Aufsichtsrat)	ガブリエレ・ペンツコファー＝レー ル (Gabriele Penzkofer-Röhl)	
監査役 (Aufsichtsrat)	カール＝ハインツ・ペフェルライン (Karl-Heinz Pöverlein)	
監査役 (Aufsichtsrat)	ギゼラ・プルンマー (Gisela Prummer)	
監査役 (Aufsichtsrat)	バルバラ・レギツ (Barbara Regitz)	市会議員 (Stadrätin)
監査役 (Aufsichtsrat)	フランク・リーグラ (Frank Riegler)	
監査役 (Aufsichtsrat)	ヴォルフガング・シャルナグル (Wolfgang Scharnagl)	
監査役 (Aufsichtsrat)	ゲルハルト・シュミット (Gerhard Schmidt)	
監査役 (Aufsichtsrat)	クラウス・シュテガー (Klaus Steger)	
監査役 (Aufsichtsrat)	クラウディア・トーマ (Claudia Thoma)	市会議員 (Stadrätin)

(典拠) Stadt Nürnberg Finanzreferat, *Beteiligungsbericht Jahresabschluss 2007*, p.18

[表 2] より執行役員の地域構成は、ニュルンベルク市および近郊のゲマインデ居住者である

ことが分かる。これらの役員の報酬は、[表3]に示したように、最低でも13万8千5百ユーロ、筆頭執行役員ヘルベルト・ドムブロフスキの報酬は36万4千7百ユーロである。

表2 StWNの執行役員（Geschäftsführung）

筆頭執行役員（Vorsitzender der Geschäftsführung）	ヘルベルト・ドムブロフスキ （Herbert Dombrowsky）	Nürnberg
執行役員（Geschäftsführer）	ディルク・フィームル （Dirk Fiehl）	Ingolstadt
執行役員（Geschäftsführer）	ヨゼフ・ハスラー（Josef Hasler）	Burgthann
執行役員（Geschäftsführer）	ライナー・ミュラー博士 （Dr. Rainer Müller）	Erlangen

（典拠）Stadt Nürnberg Finanzreferat, *Beteiligungsbericht Jahresabschluss 2007*, p.18

表3 執行役員の役員報酬（Bezüge des Vorstands）

ヘルベルト・ドムブロフスキ（Herbert Dombrowsky）	364,700 ユーロ
ディルク・フィームル（Dirk Fiehl）	337,500
ヨゼフ・ハスラー（Josef Hasler）	311,600
ライナー・ミュラー博士（Dr. Rainer Müller）	138,500

（典拠）Stadt Nürnberg Finanzreferat, *Beteiligungsbericht Jahresabschluss 2007*, p.18

ニュルンベルクの近距離交通は、1881年に運送業者ハインリッヒ・アルフェス（Heinrich Alfes）が馬車鉄道を開業したことに始まった。アルフェスの設立したニュルンベルク・フルト路面鉄道会社（Nürnberg-Fürther Straßenbahn Gesellschaft）は、1896年に路面電車（elektrische Straßenbahn）を導入した。交通供給の形成に影響力を増すために、ニュルンベルク市は1903年に、この企業を買収し、ニュルンベルク市による交通部門への介入のもとで、1923年には、バス事業が開始された。

ニュルンベルク交通株式会社 VAG（VAG Verkehrs-Aktiengesellschaft）は、1959年に法的に自立した企業として設立されたが、ニュルンベルク市自治体有限会社（StWN）が100%出資することとなり、事実上ニュルンベルク市の傘下にある。同社は、既存の路面電車事業、バス事業に加えて、1972年から地下鉄事業に乗り出し、現在に至っている^[4]。

VAGの取締役は、いずれもStWN（Städtische Werke Nürnberg GmbH）の執行役員が占めている。このうち2名はN-ERGIE Aktiengesellschaftの取締役を兼任しているが、N-ERGIE Aktiengesellschaftは、StWNが59.2%出資する子会社である^[5]。

表 4 VAG の取締役 (Vorstand)

	氏 名	兼 職
VAG 取締役会議長 (Vorsitzender des Vorstands der VAG Verkehrs-Aktiengesellschaft)	ヘルベルト・ドムブロフスキ (Herbert Dombrowsky)	StWN 筆頭執行役員 (Vorsitzender der Geschäftsführung der Städtische Werke Nürnberg Gesellschaft mit beschränkter Haftung)、N・エルギー代表取締役 (Vorsitzender des Vorstands der N-ERGIE Aktiengesellschaft)
VAG 取締役 (Vorstandsmitglied der VAG Verkehrs-Aktiengesellschaft)	ヨゼフ・ハスラー (Josef Hasler)	StWN 執行役員 (Geschäftsführer der Städtische Werke Nürnberg Gesellschaft mit beschränkter Haftung)、Nエルギー取締役 (Vorstandsmitglied der N-ERGIE Aktiengesellschaft)
VAG 取締役 (Vorstandsmitglied der VAG Verkehrs-Aktiengesellschaft)	ライナー・ミュラー博士 (Dr. Rainer Müller)	StWN 執行役員 (Geschäftsführer der Städtische Werke Nürnberg Gesellschaft mit beschränkter Haftung)

(典拠) VAG Verkehrs-Aktiengesellschaft Nürnberg, *Geschäftsbericht 2008*, p.80

VAG の監査役会は、市議会と同社従業員によって構成されていることを [図 5] が示す。資本の側から選出された役員はすべて、市議会議員または市長である。これに対して、労働側からは、市議会選出労働者代表として経営評議会および組合から選出されているもの、また労働者から直接選出されているのは、すべて同社従業員である。

表 5 VAG の監査役

	氏 名	身 分	選出母体
監査役会議長 (Vorsitzender des Aufsichtsrats)	ユルゲン・フィッシャー (Jürgen Fischer)	市会議員 (Stadtrat)、元市広報有限会社執行役員 (bis 31.12.2008 Geschäftsführer Stadtreklame Nürnberg GmbH)	持分所有者代表 (Vertreter der Anteilseigner)
監査役 (Aufsichtsrat)	ユタ・バール (Jutta Bär)	市会議員 (Stadträtin und Fachlehrerin)	持分所有者代表 (Vertreter der Anteilseigner)
監査役 (Aufsichtsrat)	テシュテン・ブレーム (Thoesten Brehm)	市会議員 (Stadtrat, Student und Unternehmer)	持分所有者代表 (Vertreter der Anteilseigner)
監査役 (Aufsichtsrat)	ロレンツ・グラドル (Lorenz Gradl)	市会議員 (Stadtrat und Bautechniker)	持分所有者代表 (Vertreter der Anteilseigner)

監査役 (Aufsichtsrat)	クリスティネ・グリュツ エナー＝カニス (Christine Grützner-Kanis)	市会議員 (Stadträtin und Finanzwirtin)	持分所有者代表 (Vertreter der Anteilseigner)
監査役 (Aufsichtsrat)	クレメンス・グゼル博士 (Dr. Klemens Gsell)	市長 (Bürgermeister der Stadt Nürnberg)	持分所有者代表 (Vertreter der Anteilseigner)
監査役 (Aufsichtsrat)	ラファエル・ラウム (Rafael Raum)	市会議員 (Stadtrat und Student)	持分所有者代表 (Vertreter der Anteilseigner)
監査役 (Aufsichtsrat)	ミヒャエル・ラインドル (Dr. Michael Reindl)	市会議員 (Stadtrat und Notar)	持分所有者代表 (Vertreter der Anteilseigner)
監査役 (Aufsichtsrat)	コンラート・シュー (Konrad Schuh)	市会議員 (Stadtrat und Justizvollzugsbeamter)	持分所有者代表 (Vertreter der Anteilseigner)
監査役 (Aufsichtsrat)	クリスティネ・ゼール (Christine Seer)	市会議員 (Stadträtin und Finanzbeamtin)	持分所有者代表 (Vertreter der Anteilseigner)
監査役 (Aufsichtsrat)	キリアン・ゼントナー (Kilian Sendner)	市会議員 (Stadtrat und Kaufmann)	持分所有者代表 (Vertreter der Anteilseigner)
監査役 (Aufsichtsrat)	アニタ＝スザンナ・ヴォ イシエコフスキ (Anita-Susanna Wojciechowski)	市会議員 (Stadträtin und Dipl. – Sozialpädagogin)	持分所有者代表 (Vertreter der Anteilseigner)
監査役 (Aufsichtsrat)	ライナー・レーネマン (Rainer Lehnemann)	経営評議会議長 (Betriebsratvorsitzender VAG)	市議会選出労働者代表者 (vom Stadtrat bestimmte Arbeitnehmervertreter)
監査役 (Aufsichtsrat)	フランク・リーグラ (Frank Riegler)	組合書記長 (Gewerkschaftssekretär ver.di)	市議会選出労働者代表者 (vom Stadtrat bestimmte Arbeitnehmervertreter)
監査役会副議長 (stellvertretender Vorsitzender des Aufsichtsrats)	ペーター・ヴィルフィン ガー (Peter Wilfinger)	交通専門士 (Verkehrsfachwirt Aus- und Weiterbildung VAG)	労働者代表者 (Vertreter der Arbeitnehmer)
監査役 (Aufsichtsrat)	カール＝ハインツ・デー メルト (Karl-Heinz Dehmelt)	バス運転手 (Omnibusfahrer)	労働者代表者 (Vertreter der Arbeitnehmer)
監査役 (Aufsichtsrat)	バルバラ・ゲッツ (Barbara Götz)	路面電車運転手 (Straßenbahnfahrerin)	労働者代表者 (Vertreter der Arbeitnehmer)
監査役 (Aufsichtsrat)	ジークフリース・ガイベ ル (Siegfried Greibel)	バス運転手 (Omnibusfahrer)	労働者代表者 (Vertreter der Arbeitnehmer)
監査役 (Aufsichtsrat)	ユルゲン・ケルツ (Jürgen Kelz)	バス運転手 (Omnibusfahrer)	労働者代表者 (Vertreter der Arbeitnehmer)

監査役 (Aufsichtsrat)	フォルカー・ロッホ (Volker Loch)	VAG 経営評議会副議長 (stellvertretender Betriebsratsvorsitzender VAG)	労働者代表者 (Vertreter der Arbeit- nehmer)
監査役 (Aufsichtsrat)	ジークマ・シュミット (Siegmar Schmidt)	路面電車運転手 (Straßenbahnfahrer)	労働者代表者 (Vertreter der Arbeit- nehmer)

(典拠) VAG Verkehrs-Aktiengesellschaft Nürnberg, Geschäftsbericht 2008, p.81

以下、VAG の子会社について簡単に触れる。

ニュルンベルク軌道交通有限会社は、ニュルンベルク交通領域、フルト交通領域および超領域路線を含めた軌道交通において、公共的な交通手段と交通施設の経営・管理を行っている⁽¹⁶⁾。

ゾーン運賃を実現するためのニュルンベルク広域交通同盟は、有限会社の形態をとり、[表 6] に示す持分所有となっている。ドイツ鉄道地域株式会社に加えて、ニュルンベルク、エアランゲン、シュヴァーバッハに広がる同盟運賃地域の交通会社が出資することによって、この地域に統一的運賃が形成されていることが分かる。

表 6 ニュルンベルク広域交通同盟有限会社の持分所有

持分所有者	比率 (%)
ドイツ鉄道地域株式会社 (DB Regio AG)	15.790
フランケンバス有限会社 (Omnibusverkehr Franken GmbH)	10.526
ニュルンベルク交通株式会社 (VAG Verkehrs-Aktiengesellschaft, Nürnberg)	26.316
エアランゲン自治体企業交通有限会社 (Erlanger Stadtwerke Stadtverkehr GmbH, Erlangen)	10.526
インフラ・フルト交通有限会社 (infra fürth verkehr gmbH, Fürth)	10.526
シュヴァーバッハ都市交通有限会社 (Stadtverkehr Schwabach GmbH, Schwabach)	5.264
VGN 民間交通企業有限会社 (Gesellschaft Privater Verkehrsunternehmen im VGN mbH)	10.526
VGN 自治体交通会社 (GKV-Gesellschaft kommunaler Verkehrsunternehmen im VGN (GbR))	10.526

(注) Stadt Nürnberg Finanzreferat, *Beteiligungsbericht Jahresabschluss 2008*, p.150

ニュルンベルク広域交通同盟有限会社による他の企業への出資は、VDV (Verband Deutscher Verkehrsunternehmen Kernapplikations GmbH & Co. KG, Köln) に対して 8.510% の持分を有する⁽¹⁷⁾。

ニュルンベルク・バス有限会社、フルト市バス有限会社、エアランゲン市バス有限会社の執行役員は同一人物エルマー・マイヤー (Elmar Maier, Forchheim) が就任している⁽¹⁸⁾。

StWN が 50% の出資をするフランケン鉄道有限会社に対するもうひとつの持分所有者は、ヴェルツブルク生活基盤供給・交通有限会社 (Würzburger Versorgungs- und Verkehrsgesellschaft mbH,

Würzburg) である¹⁹⁾。

3. ニュルンベルク・メッセ

ニュルンベルク・メッセセンター (Messezentrum Nürnberg) においては、コンズメンタ (Consumenta)、余暇・園芸プラス観光メッセ (Freizeit, Garten + Touristik)、および玩具の見本市 (Spielwarenmesse) が多数の訪問客を集めている²⁰⁾。

メッセ会場を運営する「ニュルンベルク・メッセ有限会社」は、[図2] の資本関係を有している。

図2 ニュルンベルク・メッセ有限会社の資本関係



(典拠) Stadt Nürnberg Finanzreferat, *Beteiligungsbericht Jahresabschluss 2007*, p.13

同社の持分は、バイエルン州とニュルンベルク市がそれぞれ 49.969% を有し、残りの僅少な持分はミッテルフランケン商工会議所とミッテルフランケン手工業会議が持つ。

表 7 ニュルンベルク・メッセ有限会社の持分所有者

バイエルン州 (Freistaat Bayern)	49.969%
ニュルンベルク市 (Stadt Nürnberg)	49.969
ミッテルフランケン商工会議所 (IHK Nürnberg für Mittelfranken)	0.031
ミッテルフランケン手工業会議 (Handwerkskammer für Mittelfranken)	0.031

(典拠) Bayerisches Staatsministerium der Finanzen, *Beteiligungsbericht des Freistaats Bayern 2009*, p.50

ニュルンベルク・メッセ有限会社の監査役の構成は、ニュルンベルク市から 5 名、バイエルン州から 5 名が選出されているほか、ミッテルフランケン商工会議所およびミッテルフランケン手工業会議から 1 名ずつ選ばれている。第 1 議長はニュルンベルク市上級市長であり、第 2 議長はバイエルン州環境・厚生大臣ゼーダー博士が務めている。

表 8 ニュルンベルク・メッセ有限会社の監査役

第 1 議長	ウルリヒ・マリ博士 (Dr. Ulrich Maly)	上級市長 (Oberbürgermeister)
第 2 議長	マルクス・ゼーダー博士 (Dr. Markus Söder)	州閣僚 (Staatsminister)
監査役	クラウディア・アラバキ (Claudia Arabackyj)	市会議員 (Stadträtin, Stadt Nürnberg)
監査役	ローラント・フレック博士 (Dr. Roland Fleck)	専門職市会議員 (Berufsmäßiger Stadtrat, Stadt Nürnberg)
監査役	エルマー・フォルスター教授 (Prof. Dr. Elmar Forster)	ミッテルフランケン手工業会議筆頭 執行役員 (Hauptgeschäftsführer Handwerkskammer für Mittelfranken)
監査役	アルノ・ハンプルガー (Arno Hamburger)	市会議員 (Stadtrat, Stadt Nürnberg)
監査役	カティア・ヘッセル (Katja Hessel)	州次官 (Staatssekretärin, Freistaat Bayern)
監査役	マルクス・レツチュ (Markus Löttsch)	ミッテルフランケン商工会議所筆頭 執行役員 (Hauptgeschäftsführer IHK Nürnberg für Mittelfranken)
監査役	フランツ＝ヨゼフ・プシラー (Franz Josef Pschierer)	州次官 (Staatssekretär, Freistaat Bayern)
監査役	ハンス・パウル・ゼーレ (Hans Paul Seel)	市会議員 (Stadtrat, Stadt Nürnberg)
監査役	ハンス・シュライヒャー博士 (Dr. Hans Schleicher)	州本省局長 (Ministerialdirektor, Freistaat Bayern)
監査役	マリアンヌ・シュテネク＝フライク (Marianne Stenek-Flaig)	州本省部長 (Leitende Ministerial- rätin, Freistaat Bayern)

(典拠) Nürnberg Messe, Aufsichtsrat, in interrete sub: <http://www.nuernbergmesse.de/de/unternehmen/konzernstruktur/aufsichtsrat/default>, 06.04.2010

ニュルンベルク・メッセ有限会社の海外子会社のうち、2007年に設立されたのは、上海にあるニュルンベルク・メッセ中国株式会社^[21]、アトランタにあるニュルンベルク・メッセ北米株式会社^[22]、である。その後、2009年には100%子会社として「ニュルンベルク・メッセイタリア株式会社」(Nürnberg Messe Italia S.r.l.)^[23]、および「ニュルンベルク・メッセブラジル株式会社」(Nürnberg Messe Brasil Ltda.)^[24]が設立された。ニュルンベルク・メッセグループは、世界全体で40の代理店を持ち、およそ80カ国で活動し^[25]、日本の代理店はABCエンタープライズである^[26]。

ニュルンベルク・メッセセンター (das Messezentrum Nürnberg) は、1973年に営業を開始し、2009年までの間に、6億5千3百万ユーロの投資によって設備の拡充が図られてきた^[27]。その間の展示者、集客、売り上げは〔表9〕の通りである。

表9 ニュルンベルク・メッセセンターの定量的発展

年度	出展者数 (Aussteller)	訪問者総数 (Gesamtbesucherzahl)	売り上げ (Umsatzenentwicklung) 100万ユーロ
1974	3,900	396,370	2.6
1975	4,310	402,840	2.8
1980	7,278	671,607	7.7
1985	9,368	947,918	14.1
1990	12,227	1,028,201	18.9
1995	15,668	1,264,509	41.5
2000	21,723	1,340,000	82.9
2001	21,175	1,210,000	81.8
2002	21,633	1,320,000	95.2
2003	22,379	1,220,000	101.4
2004	21,187	1,200,000	108.1
2005	21,097	1,200,000	96.1
2006	24,647	1,290,000	125.7
2007	25,843	1,240,000	125.0
2008	27,128	1,260,000	153.2
2009	24,500	1,090,000	132.0

(注) 2000年以降の訪問者数は概数。2001年以降の売り上げは企業グループとしての概数。

(典拠) NürnbergMesse, Daten Und Fakten, in interrete sub: <http://www.nuernbergmesse.de/de/press/ars12/ars17/default>, 06.04.2010

4. ニュルンベルク空港

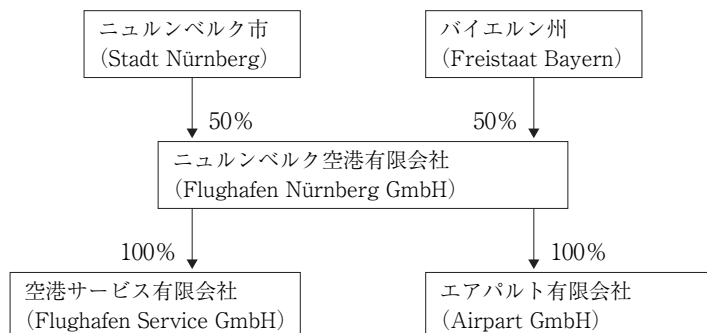
ニュルンベルク空港における資本関係、航空路の開設状況については、拙著において詳しく指摘した。ニュルンベルク空港は、エア・ベルリンによる休暇旅行の一大拠点であることをすでに確認している^[28]。

ここでは、ニュルンベルク市とニュルンベルク空港との資本関係と人的関係について、簡単に

述べるに留める。

ニュルンベルク空港有限会社には、都市と州が同格出資し（[図3] 参照）、また監査役会においては、議長はバイエルン州内務大臣、第1副議長はニュルンベルク市上級市長がこれにあたる。また第2副議長は労働者代表があたり、州・都市・労働が要職を占める構造となっている。（[表10] 参照）

図3 ニュルンベルク空港の資本関係



（典拠）Stadt Nürnberg Finanzreferat, *Beteiligungsbericht Jahresabschluss 2007*, p.13
et Bayerisches Staatsministerium der Finanzen, *Beteiligungsbericht des Freistaats Bayern 2009*, p.50

2009年7月13日に開催されたニュルンベルク空港有限会社の第75回定例社員総会において、新たに同社の100%子会社「ニュルンベルク空港エネルギー有限会社」（Flughafen Nürnberg Energie GmbH）の設立が決定された²⁹。

表10 ニュルンベルク空港有限会社の監査役

	氏 名	現職／職場	選出母体
議長（Vorsitzender）	ヨアヒム・ヘルマン (Joachim Hermann)	バイエルン内務大臣 (Staatsminister, Bayerisches Staatsministerium des Innern)	バイエルン州 (Freistaat Bayern)
監査役 (Aufsichtsrat)	カティア・ヘッセル (Katja Hessel)	バイエルン経済・インフラ・交通・技術省次官 (Staatssekretärin, Bayerisches Staatsministerium für Wirtschaft, Infrastruktur, Verkehr und Technologie)	バイエルン州 (Freistaat Bayern)
監査役 (Aufsichtsrat)	フランツ・ヨゼフ・プシラー (Franz Josef Pschierer)	バイエルン財務省次官 (Staatssekretär, Bayerisches Staatsministerium der Finanzen)	バイエルン州 (Freistaat Bayern)

第1副議長 (1. stellv. Vorsitzender)	ウルリヒ・マリ博士 (Dr. Ulrich Maly)	ニュルンベルク上級市長 (Oberbürgermeister der Stadt Nürnberg)	ニュルンベルク市 (Stadt Nürnberg)
監査役 (Aufsichtsrat)	ローラント・フレック博士 (Dr. Roland Fleck)	都市開発・居住・経済局 担当市会議員 (Berufsm. Stadtrat, Referent für Stadtentwicklung, Wohnen und Wirtschaft)	ニュルンベルク市 (Stadt Nürnberg)
監査役 (Aufsichtsrat)	クリスティアン・フォージェル (Christian Vogel)	ニュルンベルク市会議員 (Stadtrat der Stadt Nürnberg)	ニュルンベルク市 (Stadt Nürnberg)
第2副議長 (2. stellv. Vorsitzender)	ゲオルク・デュンクフェルダー (Georg Dünfelder)	ニュルンベルク空港有限会社 (Flughafen Nürnberg GmbH)	労働者代表 (Arbeitnehmervertreter)
監査役 (Aufsichtsrat)	フリードリヒ・パウワー (Friedrich Bauer)	ニュルンベルク空港有限会社 (Flughafen Nürnberg GmbH)	労働者代表 (Arbeitnehmervertreter)
監査役 (Aufsichtsrat)	ウヴェ・ヘルマン (Uwe Hermann)	ニュルンベルク空港有限会社 (Flughafen Nürnberg GmbH)	労働者代表 (Arbeitnehmervertreter)

(典拠) Flughafen Nürnberg GmbH, Geschäftsbericht 2009, p.6

執行役員である CEO、CCO はいずれも子会社の執行役員を兼任していることが、[表 11] から読み取れる。

表 11 ニュルンベルク空港有限会社執行役員

執行役員 CEO (Geschäftsführer, CEO) カール＝ハインツ・クリューガー (Karl-Heinz Krüger)	輸送・技術等部門 (Geschäftsbereiche Aviation, Marketing/Business Development, Technik, Kommunikation/Umwelt) 代表者 (Vertritt das Unternehmen als Sprecher nach außen)	エアパルト有限会社執行役員 (Geschäftsführer der AirPart GmbH) ニュルンベルク空港サービス有限会社代表 (Gesellschaftervertreter für die Flughafen Nürnberg Service GmbH) ニュルンベルク空港エネルギー有限会社代表 (Gesellschaftervertreter für die Flughafen Nürnberg Energie GmbH)
---	--	--

執行役員 CCO (Geschäftsführer, CCO) ハリー・マルクス (Harry Marx, Dipl.-Kfm.)	財 務 ・ 人 事 部 門 (Geschäftsbe- reiche Finanz/Controlling, Non- Avation, Personal/Recht)	ニュルンベルク空港サービス有限 会 社 執 行 役 員 (Geschäftsführer der Flughafen Nürnberg Service GmbH) ニュルンベルク空港エネルギー有 限会社執行役員 (Geschäftsführer der Flughafen Nürnberg Energie GmbH) エアバルト有限会社代表 (Gesell- schaftervertreter für die AirPart GmbH)
---	--	--

(典拠) Flughafen Nürnberg GmbH, Geschäftsbericht 2009, p.7

小括

ニュルンベルク市が資本参加し、監査役を派遣している観光に関わる 3 企業を分析することによって、以下の点が明らかとなった。

ニュルンベルク交通株式会社 VAG は、親会社である StWN と相似的な役員会を構成し、ニュルンベルク市議会による影響力が極めて大きい。同社の空間的営業範囲がミッテルフランケンに及んでいることから、VAG の子会社であるニュルンベルク広域交通同盟有限会社には、近隣のゲマインデが資本参加する。

ニュルンベルク・メッセ有限会社およびニュルンベルク空港有限会社においては、ニュルンベルク市とバイエルン州が同格の持分参加と監査役派遣を行っている。

このことから、VAG は専ら地域を基盤とする公的企業であるのに対して、後 2 社は都市と州を空間的基盤とするインフラストラクチャーであることが分かる。

展望

都市による私法形態の企業活動を「コンツェルン都市」と呼ぶことが、一般化させてきた⁹³⁾。本稿において記したニュルンベルク空港有限会社、ニュルンベルク・メッセ有限会社における資本関係や役員構成、また、バイエルン観光マーケティング有限会社における役員構成⁹⁴⁾、ミュンヘン空港における持分構成と経営組織⁹⁵⁾、を踏まえ、これを州レベルに敷衍して、バイエルン州を「コンツェルン州」(Konzern Land od. Konzern Staat)と呼称することが許されても良いのではなかろうか。

注

- (1) Stadt Nürnberg Finanzreferat, *Beteiligungsbericht Jahresabschluss 2008*, p.8
- (2) Nürnberg online, Städtische Beteiligungen, in interrete sub: <http://www.nuernberg.de/internet/referat2/beteiligungen.html>, 21.02.2010
- (3) Stadt Nürnberg Finanzreferat, *Beteiligungsbericht Jahresabschluss 2008*, p.13
- (4) 電気、ガス、水道、暖房などの供給を表す Versorgung に対応する適切な日本語が存在しないので、生活基盤供給という表現を当てる。
- (5) StWN, 2009, p.3
- (6) StWN, 2009, p.3-4
- (7) StWN, 2009, p.4
- (8) StWN, 2009, p.5-7
- (9) StWN, 2009, p.7
- (10) StWN, 2009, p.8
- (11) StWN, 2009, p.9
- (12) StWN, 2009, p.11
- (13) StWN, 2009, p.13
- (14) VAG Verkehrs-Aktiengesellschaft Nürnberg, *Geschäftsbericht 2008*, p.18
- (15) STWN が直接出資する子会社は、N-ERGIE Aktiengesellschaft (59.2%出資)、FEG Fränkische Energie-Gesellschaft mbH (100%出資)、VAG Verkehrs-Aktiengesellschaft (100%出資)、wbg Wohnungsgesellschaft Nürnberg GmbH (60%出資) の4社である。(Stadt Nürnberg Finanzreferat, *Beteiligungsbericht Jahresabschluss 2007*, p.14)
- (16) Stadt Nürnberg Finanzreferat, *Beteiligungsbericht Jahresabschluss 2008*, p.157
- (17) Stadt Nürnberg Finanzreferat, *Beteiligungsbericht Jahresabschluss 2008*, p.150
- (18) Stadt Nürnberg Finanzreferat, *Beteiligungsbericht Jahresabschluss 2008*, p.151, 153 et 155
- (19) Stadt Nürnberg Finanzreferat, *Beteiligungsbericht Jahresabschluss 2008*, p.142
- (20) 拙稿「フランケン地方における観光事情」『跡見学園女子大学文学部紀要』、第44号、2010年、90～92ページ。
- (21) NürnbergMesse, NürnbergMesse China, in interrete sub: <http://www.nuernbergmesse.de/de/international/tochtergesellschaften/china/default>, 06.04.2010
- (22) NürnbergMesse, NürnbergMesse North America, in interrete sub: http://www.nuernbergmesse.de/de/international/tochtergesellschaften/north_america/default, 06.04.2010
- (23) NürnbergMesse, NürnbergMesse Italia, in interrete sub: <http://www.nuernbergmesse.de/de/international/tochtergesellschaften/italia/default>, 06.04.2010

- (24) NürnbergMesse, NürnbergMesse Brasil, in interrete sub: <http://www.nuernbergmesse.de/de/international/tochtergesellschaften/brasil/default>, 06.04.2010
- (25) NürnbergMesse, Daten Und Fakten, in interrete sub: <http://www.nuernbergmesse.de/de/press/ars12/ars17/default>, 06.04.2010
- (26) ABC ENTERPRISES INC, in interrete sub, <http://www.abcentertprises.jp/>, 06.04.2010 et NürnbergMesse, Japan, in interrete sub: http://www.nuernbergmesse.de/de/international/_vertretungen/japan/default, 06.04.2010
- (27) NürnbergMesse, Daten Und Fakten, in interrete sub: <http://www.nuernbergmesse.de/de/press/ars12/ars17/default>, 06.04.2010
- (28) 拙著『ドイツ資本主義と空港』日本経済評論社、2009年243ページ以降
- (29) Flughafen Nürnberg GmbH, *Geschäftsbericht 2009*, p.9 et p.28
- (30) 拙稿「コンツェルン都市ミュンヘンと観光事業」『跡見学園女子大学マネジメント学部紀要』第10号、2010年、49ページ、注25参照。
- (31) 拙稿「バイエルンにおける観光事業助成」『跡見学園女子大学人文学フォーラム』第8号、2010年、69ページ
- (32) 拙著『ドイツ資本主義と空港』日本経済評論社、2009年145ページ以降